

研究課題名	COVID-19 流行に伴う喀痰からの <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> 検出割合の変化および肺炎発症率についての検討
研究の意義・目的	<i>Stenotrophomonas maltophilia</i> (ステノトロフォモナス・マルトフィリア) は環境中にもいる細菌で、通常は病原性が低いとされています。しかし、免疫力が低下している方では重症な感染症を発症することがあり、その一つに肺炎があります。多くの抗菌薬に耐性を持つため、この菌に対する治療、感染制御は診療において重要と考えています。新型コロナウイルス流行に伴い、この菌の検出が増えたという報告があり、当院での痰の中からこの菌が検出される割合が実際に変化したかを検討します。また、肺炎の発症割合の変化やそのリスク因子についても検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2016 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで大阪公立大学医学部附属病院に入院され、集中治療室に入室した方で、喀痰から <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> という菌が検出された患者様が対象です。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、放射線検査画像
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島 伸一 機関名：公立大学法人大阪 大阪国際感染症研究センター 機関の長の氏名：センター長 掛屋 弘
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療記録・電子カルテから使用します
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科 掛屋 弘

<p><b>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</b></p>	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学、大阪国際感染症センターにて行います。</p> <p>【研究責任者】掛屋 弘</p> <p>以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。</p> <p>【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 掛屋 弘</p> <p>【共同研究機関・研究責任者】 公立大学法人大阪 大阪国際感染症センター 掛屋 弘</p>
<p><b>本研究の 利益相反</b></p>	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p><b>研究に協力を したくない場合</b></p>	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<p><b>連絡先</b></p>	<p>担当者：大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学講座 河本健吾 電話：06-6645-3784 Email：so22564i@st.omu.ac.jp</p>